

セキュガ - ドシステム

家庭用・業務用セキュリティシステムのご案内
高齢者・一人暮らしの安全を守るシステムのご案内

セキュガ - ドシステムの概要

- ・本システムは住宅・店舗・事務所・別荘・倉庫・小規模ビルなどの「安否確認」、「防犯対応」、「緊急時の対応」、「火災通報」等々のセキュリティシステムです。

- ・訪問による悪質業者の撃退や家族のコミュニケーション対応のための通話機能があります。
- ・様々な機能を持つため応用範囲が広く、様々なセキュリティシステムを構築できます。

1) 通報先 3グループ 各5件

電話番号を1グループにつき最大5件まで登録でき、3グループ合わせて最大10件まで登録できます。
通報内容により3グループのうちいずれかを選択できます。

2) 警備状態は5パターンあり、使用状況により随時変更できます。

A) 全体警備・・・無人、留守中の警備をします。

B) 部分警備1・・・営業中の店舗や倉庫でも人の目の届きにくい部分の警備をします。

家庭では2Fで就寝中の場合等に、無人になる1F部分の警備をします。

C) 部分警備2・・・部分警備1と同じですが、部分警備1とは警備状態が異なる警備をします。

家庭では介護者が買い物等で要介護者が1人きりになる状態の場合等に警備します。

D) ライフサイクル警備・・・安否確認機能で高齢者が一人で生活している等の場合に設定します。

特定のセンサ(窓振動センサ、人感センサ等)が一定時間異常を感知しなかった場合に、あらかじめ登録しておいた関係者に電話をかけます。

E) 警備オフ・・・警備状態に設定しなくても、常時警備状態に設定した一部のセンサだけを警備します。

一般的には火災センサ、緊急リモコンが該当しますが、その他のセンサを用いることにより、常時使用しない貴重品、あまり開け閉めをしない金庫・保管庫等も警備できます。

3) コントローラ本体との通信は電波にて行っていますので各センサ間の配線は不要なため、取り付け工事費は非常に安価です。

コントローラ本体と各センサとの通信は総務省の認可を受けた小電力セキュリティ周波数帯と送信出力10mWを使用しています。電波の届き難い環境では中継器を使用してください。

IDコードにより誤動作のないように設計されており、各センサの周波数も3波標準で選択できます。

セキュガードシステムの機能

1) 警報機能

コントロ - ラ本体から100dB以上の警報音を鳴らす設定ができ、鳴らす時間も設定できます。
さらに各センサごとに警報音の要否を指定でき、設置環境に応じた使用ができます。
外部接点出力回路を内蔵していますので、必要に応じて外部にフラッシュライト、サイレン等の接続もできます。

2) 停電バックアップ機能

内部に安全なニッカド電池を装備しており、停電時から60分後に警報信号を受けても警報動作が可能です。

3) 充実した音声ガイダンス機能

あらかじめ録音しておいた通報先に電話をかけると、音声ガイダンス(センサの番号+センサの種類+メッセージ+オリジナルメッセージ)が2回流れます。
通報先からのアクションがなければ次の通報先へダイヤリングします。
通報先は最大5ヶ所設定でき、2巡して停止します。

3種類の通報状態に応じたオリジナルメッセージを録音することができ、各通報状態により任意に選択して通報先に知らせることができます。

例えば

- A) 緊急通報時.....メッセージ1
- B) 防犯通報時.....メッセージ2
- C) ライフサイクル警備通報時.....メッセージ3

ガイダンス例

「1番の緊急ボタンが押されました。緊急通報です。至急駆けつけてください。」

「2番の窓・振動センサを感知しました。異常な衝撃を感知しました。緊急通報です。〇〇ですが調べて頂けませんか。」

ライフサイクル警戒について

- ・高齢者の一人暮らしまたは病気療養中等の見守りが必要な場合に利用します。
- ・特定のセンサをライフサイクル警備「有り」の設定にすることにより、そのセンサが一定時間以上感知しないとあらかじめ登録しておいた連絡先に通報します。
 - 例) 洗面所のドアにライフサイクル警備「有り」、ライフサイクル異常検出時間設定を20時間に設定した窓・振動センサを取り付めます。
20時間以内に一度も洗面所のドアの開閉が行われないと警報状態になり、あらかじめ登録しておいた連絡先に通報します。
- ・生活習慣に応じて各センサをご利用ください。
 - 例) 窓・振動センサをドアや襖に取り付けるとドアの開閉、襖の開閉を感知でき、リビングのテーブルに取り付けるとイスに座る際の振動を感知できます。
また、廊下、玄関、リビング、寝室等に人感センサを設置することにより一定時間以上動きがない場合に警報状態になります。
- ・ライフサイクル異常検出時間設定は分刻みで3分～11999分までの間で設定できます。
- ・「ライフサイクル警備」時に異常を感知した場合に電話をかける先は警備グループ（電話番号最大登録数5件）または緊急グループ（電話番号最大登録数5件）場合により夜間連絡先（電話番号最大登録数5件）のいずれかを選択できます。
- ・異常を感知した場合に電話をかけ、接続時に流れるメッセージはあらかじめ録音しておいたメッセージ3種類から選択できます。
- ・ライフサイクル警備は他の警備状態（例えば全体警備、部分警備1等）と併用して使用できます。

外部出力機能

・外部出力は3チャンネル用意されています。設定により次のことができます。

- A) 警報音に連動して出力をオンします。 ロック信号(サイレン設定時間に準ずる)
外部警報ブザー、フラッシュライト、緊急信号発信機等に接続します。
- B) 警報時に連動して出力をオンします。 1秒間オン
ネットワークカメラ、外部警報ブザー、フラッシュライト、緊急信号発信器等に接続します。
- C) 警報が解除になった時点で出力をオンします。 1秒間オン
外部警報ブザー、フラッシュライト等の解除信号等に接続します。
- D) 警報時に連動して出力をオンします。 ロック信号
警報が解除になった時点で出力をオフにします。
外部警報ブザー、フラッシュライト、緊急信号発信機等に接続します。
- E) Bの動作とGの動作の併用
 - 1 警報時に連動して出力をオンします。 1秒間オン
ネットワークカメラ、外部警報ブザー
 - 2 電話回線より区分信号に連動して出力を1秒間オンします。または、出力を0.5秒間オンを10秒間隔で12回繰り返します。
外部の警報機器のON・OFF制御、ネットワークカメラ等のメール送信制御等に接続します。
- F) 全体警備開始時に連動して出力をオンします。
施錠・開錠の状態表示、外部の警報機器のON・OFF制御等に接続します。
- G) 電話回線より区分信号に連動して出力を1秒間オンします。または、出力を0.5秒間オンを20秒間隔で12回繰り返します。
外部の警報機器のON・OFF制御、ネットワークカメラ等のメール送信制御等に接続します。
- H) コントローラがエラー状態(回線不良・端末機器電池消耗等)に連動して出力をオンします。
リモートメンテナンス機器への連動への制御等に接続します。
- I) ライフサイクル警備中にオンになり、警備解除にてオフの出力をします。

外部入力機能

- ・外部入力は3チャンネル用意されています。
- ・有線式のセンサ等を接続することができ、設定により次のことができます。

A) 有線式センサの接続 (常時オ - プン NO入力形式)

B) 有線式センサの接続 (常時クロ - ズ NC入力形式)

C) 施錠開錠動作を行います。

外部キーボックス等を接続します。

ロック信号にて制御を行います。

ショート (クローズ) で警備開始及び警備状態を維持します。

オープンで警備解除及び非警備状態を維持します。

D) 施錠動作を行います。

常時ショート (ノーマルクローズ) タイプの機器を接続します。

ワンショット (ノーマルクローズ状態からのショート変移) 動作にて警備開始

及び警備状態を維持します。

E) 施錠動作を行います。

常時オープン (ノーマルオープン) タイプの機器を接続します。

ワンショット (ノーマルオープン状態からのショート変移) 動作にて警備開始

及び警備状態を維持します。

F) 開錠動作を行います。

常時ショート (ノーマルクローズ) タイプの機器を接続します。

本設定では、ワンショット (ノーマルクローズ状態からのショート変移) 動作にて警備解除

及び非警備状態を維持します。

G) 開錠動作を行います。

常時オープン (ノーマルオープン) タイプの機器を接続します。

本設定では、ワンショット (ノーマルオープン状態からのショート変移) 動作にて警備解除

及び非警備状態を維持します。

H) 在宅警備強制解除

在宅警備解除手続をせず外部スイッチにて在宅警備を解除します。ライフサイクル警備状態を強制解除します。

常時ショート（ノーマルクローズ）タイプの機器を接続します。

本設定では、ロック（ノーマルクローズ）状態からオープン動作にて在宅警備を強制解除します。

I) : 在宅警備強制解除

在宅警備解除手続をせず外部スイッチにてライフサイクル警備状態を強制解除します。

常時オープン（ノーマルオープン）タイプの機器を接続します。

本設定では、ロック（ノーマルオープン）状態からのロック（ノーマルクロ - ズ）動作にて在宅警備を強制解除します。

J) 夜間通報ダイヤル切替

発呼時は夜間連絡先電話番号に接続されます。

本入力時は緊急・警備・ライフサイクル警備の通報先は夜間連絡先に全て変更されます。

常時ショート（ノーマルクローズ）タイプの機器を接続します。

本設定では、ロック状態からのオープン（ロック解除）動作にて警備の通報先は夜間連絡先に全て変更されます。

K) 夜間通報ダイヤル切替

発呼時は夜間連絡先電話番号に接続されます。

本入力時は緊急・警備・ライフサイクル警備の通報先は夜間連絡先に全て変更されます。

常時オ - プン（ノーマルオ - プン）タイプの機器を接続します。

本設定では、ノーマルオ - プン状態からロック（ノーマルクロ - ズ）動作にて警備の通報先は夜間連絡先に全て変更されます。

外部電話機（携帯電話等含む）からの制御機能

・外部電話機（携帯電話等含む）からの制御機能は2通りあります。

1) 緊急通報等でコントローラ本体から通報を受けた場合の機能

- A) あらかじめ登録された次の通報先への通報を停止できます。
- B) 通報中の音声ガイダンスを中断できます。
- C) 警備を解除できます。「警備が解除されました。」とメッセージが流れます。
- D) ライフサイクル警備（在宅警備）の警備を開始できます。
- E) ライフサイクル警備（在宅警備）の警備を解除できます。
- F) 現場の状況（物音や音声など）を聞くことができます。
- G) 通常の電話と同じように相互会話ができます。（音声による威嚇等）
- H) サイレンを鳴らすことができます。
- I) サイレンを止めることができます。
- J) 外部接点出力1に対して電話回線より区分信号に連動して出力を1秒間オンします。
外部接点出力1 に対して10秒間隔で0.5秒間オン出力を12回繰り返します。
- K) 外部接点出力2に対して電話回線より区分信号に連動して出力を1秒間オンします。
外部接点出力2 に対して10秒間隔で0.5秒間オン出力を12回繰り返します。
- L) 外部接点出力3に対して電話回線より区分信号に連動して出力を1秒間オンします。
外部接点出力3 に対して10秒間隔で0.5秒間オン出力を12回繰り返します。

2) 外部からコントロール本体制御する場合の機能

- A) 警戒を開始します。本体から「警備が開始されました」とメッセージが流れます。
- B) 警戒を解除します。本体から「警備が解除されました」とメッセージが流れます。
- C) 現場の状況（物音や音声など）を聞くことができます。
- D) 通常の電話と同じように相互会話ができます。（音声による威嚇等）
- E) サイレンを操作により鳴らせます。
- F) 現在鳴っているサイレンを停止できます。
- G) ライフサイクル警備（在宅警備）の警備を開始できます。
- H) ライフサイクル警備（在宅警備）の警備を解除できます。
- I) 外部接点出力 1 に対して電話回線より区分信号に連動して出力を 1 秒間オンします。
外部接点出力 1 に対して 10 秒間隔で 0.5 秒間オン出力を 12 回繰り返します。
- J) 外部接点出力 2 に対して電話回線より区分信号に連動して出力を 1 秒間オンします。
外部接点出力 2 に対して 10 秒間隔で 0.5 秒間オン出力を 12 回繰り返します。
- K) 外部接点出力 3 に対して電話回線より区分信号に連動して出力を 1 秒間オンします。
外部接点出力 3 に対して 10 秒間隔で 0.5 秒間オン出力を 12 回繰り返します。

映像の連動について

- ・セキュガードシステムは本来、アナログ回線を使用して通報をしますが、他社のインターネットカメラとの連動も可能です。
- ・セキュガードで受信した警報にてインターネットカメラからネットワークを経由してメールに警報信号受信時の映像を添付して任意の場所に送ることができます。
- ・緊急通報着信時または出先の電話から暗証番号を入力することにより現在の映像をメールに添付できます。
- ・連続的に映像の入手が必要な場合は11～12枚の映像を送る指示ができます。
携帯電話なら緊急通報着信時に画像の添付された映像が届きます。
(メールの着信は時々遅れる場合がありますので注意してください。)
- ・メールによる画像取得の注意
インターネットカメラの利用に際してはIP接続の設備とメールアドレス等の取得が必要です。
単にメールを送る目的の場合はインターネットカメラ接続サーバ等のサービスはいりませんので月々のランニングコストは軽減できます。しかしインターネットカメラの任意に直接画像入手、カメラの制御(上下左右のレンズ制御)等はできません。

各センサの特徴と使い方について

緊急リモコン

- ・主に在宅中の緊急時に使用します。コントローラ本体は同時に緊急リモコンを10台まで対応できます。
- ・登録時に個別に警備モード（全体警備、部分警備1、部分警備2、ライフサイクル警備、警備オフ）から一つもしくは複数登録できます。また、個別にサイレンを鳴らす、鳴らさないの登録が可能です。使用環境に応じて登録してください。
- ・緊急リモコンは2グループに分けて警備区分が指定できます。つまり緊急リモコン1～5番と緊急リモコン6～10番で警備モード、メッセージ、通報先電話番号を設定できます。
- ・生活防水対応タイプですのでお風呂場にも設置可能です。

オン/オフスイッチ

- ・コントローラ本体の全体警備の開始・解除をワンタッチでできます。10台まで内1台はライフサイクル警備（在宅警備）に対応できます。
- ・コントローラ本体からの警備の開始・解除は暗証番号の照会が必要で面倒ですが、オン/オフスイッチを使用することによりワンタッチで警備の開始・解除ができます。
- ・コントローラ本体からのライフサイクル警備（在宅警備）の開始・解除は暗証番号の照会が必要で面倒ですが、オン/オフスイッチを使用することによりワンタッチでライフサイクル警備（在宅警備）の開始・解除ができます。

人感センサ

- ・ 外部からの不法侵入者、ベランダ等に潜む侵入者等の検出に使用します。
- ・ コントロ - ラ本体は同時に人感センサを 10 台まで対応できます。
- ・ 登録時に個別に警備モ - ド（全体警備、部分警備 1、部分警備 2、ライフサイクル警備、警備オフ）から一つもしくは複数登録できます。また個別にサイレンを鳴らす、鳴らさないの登録が可能です。使用環境に応じて登録してください。
- ・ 遠赤外線を利用して一定以上の体温を感知して警報信号を出します。ペット等にも感知しますのでご注意ください。中心部は約 6 ~ 8 m 先まで感知しますので、雨の影響の無いベランダ等にも使用できます。
- ・ ライフサイクル警備用のセンサに使用しますと、在宅者が設置された部屋または廊下等を移動する毎にライフサイクル警備用タイマーがクリアーされ、非常に有効に利用できます。
- ・ 外出から戻った時、室内に不法侵入者が潜んでいる場合に非常に有効に利用できます。

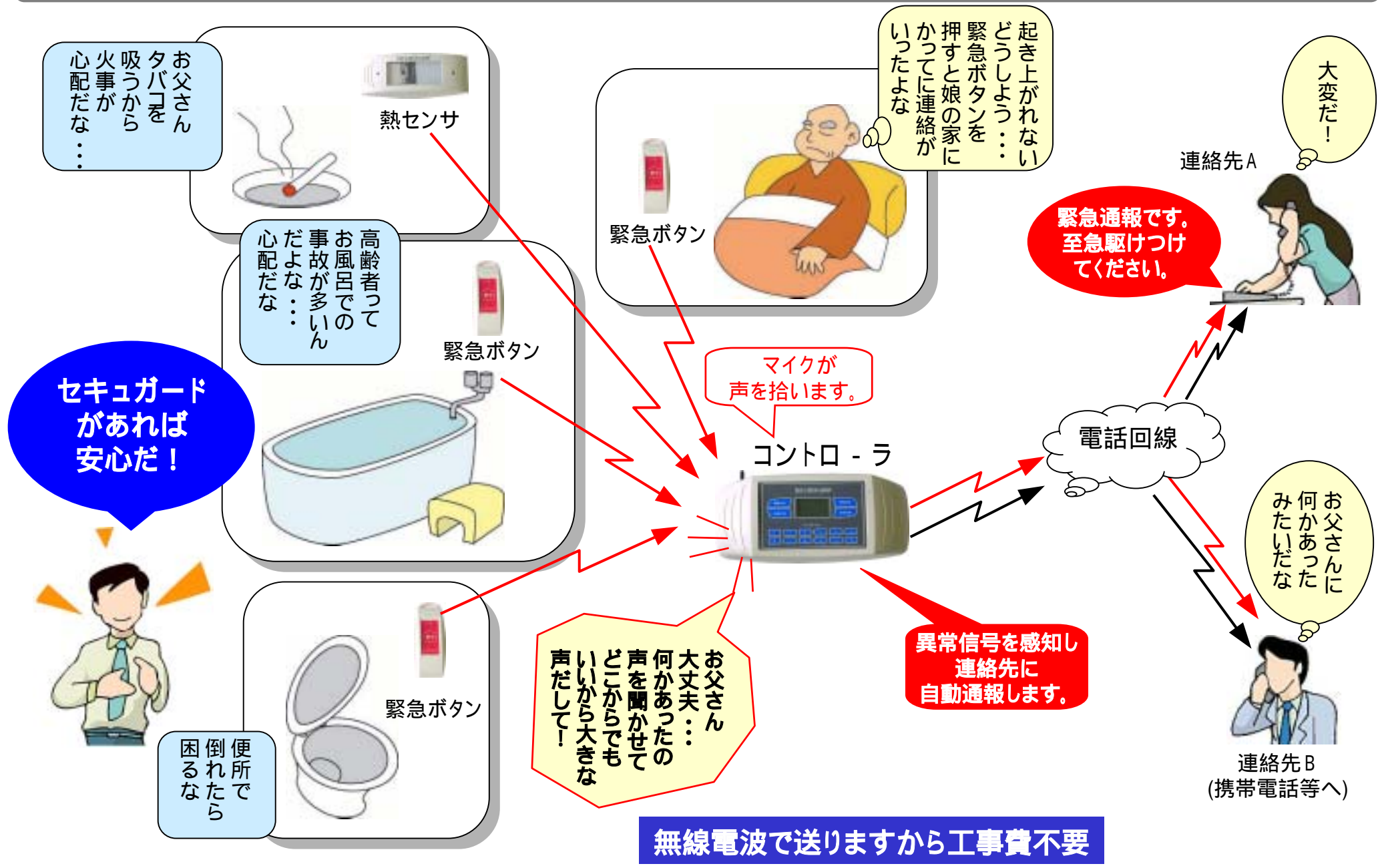
窓・振動センサ

- ・窓や玄関ドアからの不法侵入者の検出に使用します。
- ・振動センサは窓ガラスの破壊以外にも金庫・陳列ケース・美術骨董品の盗難等の様々な使用方法があります。内部に感度調整機がありますので、用途・目的に応じて振動・衝撃の感度を合わせて設置してください。
- ・コントロール本体は同時に窓・振動センサを20台まで対応できます。
- ・登録時に個別に警備モード（全体警備、部分警備1、部分警備2、ライフサイクル警備、警備オフ）から一つもしくは複数登録できます。また個別にサイレンを鳴らす、鳴らさないの登録が可能です。使用環境に応じて登録してください。

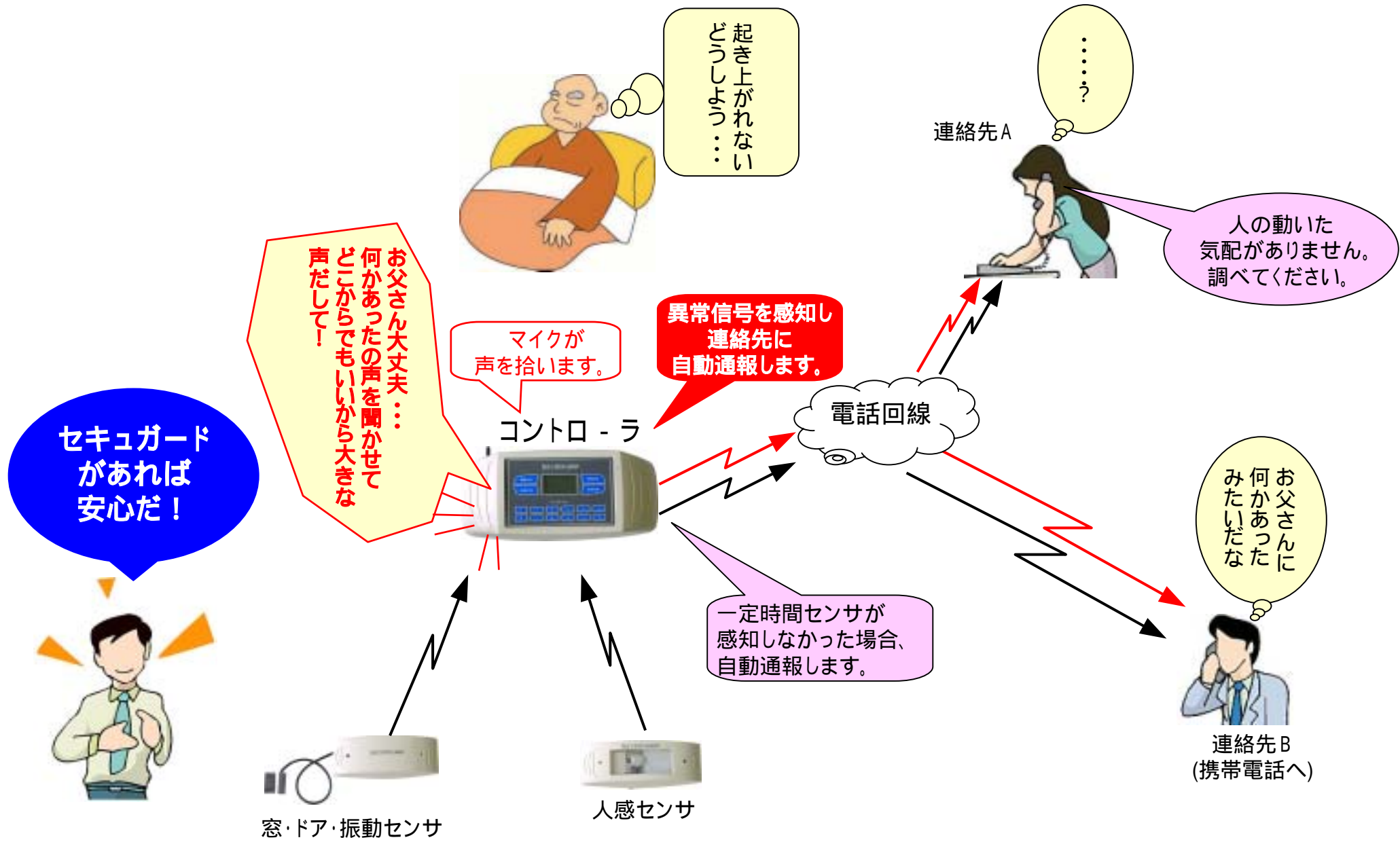
熱センサ

- ・火災などの検出に使用します。50度で警報信号を出します。
- ・他社から販売されている煙センサ等を接続できる外部入力機能を持ちます。
- ・コントロール本体は同時に熱センサを10台まで管理できます。
- ・登録時に個別に警備モード（全体警備、部分警備1、部分警備2、ライフサイクル警備、警備オフ）から一つもしくは複数登録できます。また個別にサイレンを鳴らす、鳴らさないの登録が可能です。使用環境に応じて登録してください。
- ・外部入力は無電圧接点入力（A接点入力 ノーマルオープン）が閉じた時（ショート）で警報信号を出し、音声ガイダンスは「煙センサ」で表現されます。
- ・外部入力は無電圧接点入力（A接点入力 ノーマルオープン）が閉じた時（ショート）で警報信号を出す構造ですので、例えば熱センサ・シャッターセンサ・パッシングセンサ等の接続も可能です。

高齢者・一人暮らしの安全を守る！

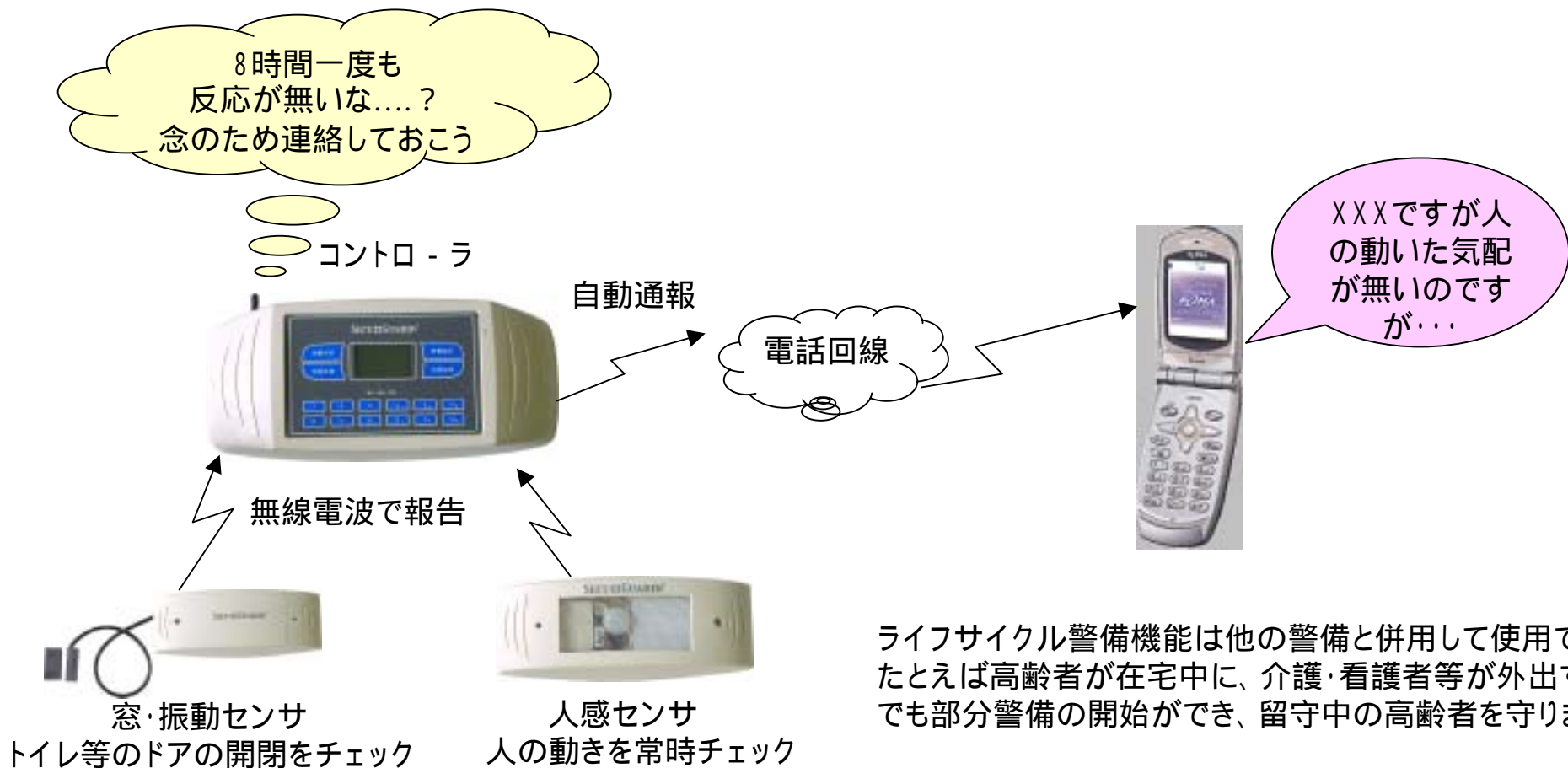


生活習慣異常通報



ライフサイクル警備(生活習慣異常通報)の説明

ライフサイクル警備とは窓(ドア)・振動センサまたは人感センサ等を設定しておき、設定されたセンサが一定時間(3分~約1200時間)動作を感知しない場合、あらかじめ登録しておいた連絡先(5ヶ所登録可能)に自動的に通報し、録音しておいたメッセージを相手先に送ります。



ライフサイクル警備機能は他の警備と併用して使用できます。たとえば高齢者が在宅中に、介護・看護者等が外出する場合でも部分警備の開始ができ、留守中の高齢者を守ります。

緊急通報とインターネットカメラの連動

